

1 円の面積の求め方について、確かめましょう。

円の面積は、次の公式で求められます。

教科書(65~68ページ)で、円の面積の求め方について確かめておきましょう。

円の面積 = ( ) × ( ) × 3.14



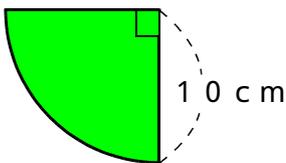
2 公式を使って、面積を求めましょう。

半径5cmの円の面積

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

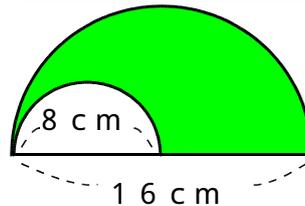
直径20cmの円の面積

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_



式 \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

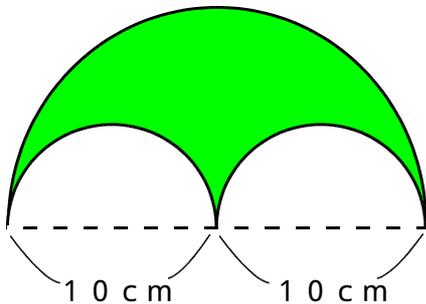


式 \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

3 色をぬった部分のまわりの長さや面積を求めましょう。

まわりの長さ



式 \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

面積

式 \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

円周(円のまわりの長さ)と面積のどちらを求めるのかを考えて計算をしましょう。



1 円の面積の求め方について、確かめましょう。

円の面積は、次の公式で求められます。

教科書(65~68ページ)で、円の面積の求め方について確かめておきましょう。

$$\text{円の面積} = (\text{半径}) \times (\text{半径}) \times 3.14$$



2 公式を使って、面積を求めましょう。

半径5cmの円の面積

式  $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$

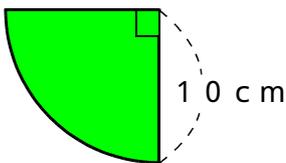
答え  $78.5 \text{ cm}^2$

直径20cmの円の面積

$20 \div 2 = 10$

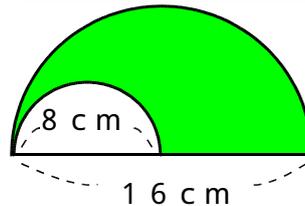
式  $10 \times 10 \times 3.14 = 314$

答え  $314 \text{ cm}^2$



式  $10 \times 10 \times 3.14 \div 4 = 78.5$

答え  $78.5 \text{ cm}^2$

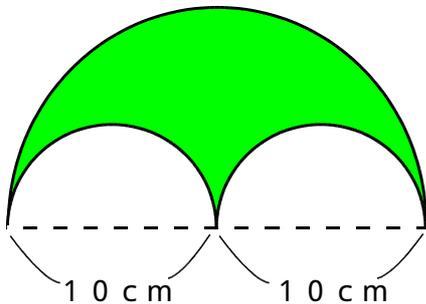


式  $8 \times 8 \times 3.14 \div 2 - 4 \times 4 \times 3.14 \div 2 = 75.36$

答え  $75.36 \text{ cm}^2$

3 色をぬった部分のまわりの長さや面積を求めましょう。

まわりの長さ



式  $20 \times 3.14 \div 2 + 10 \times 3.14 = 62.8$

答え  $62.8 \text{ cm}$

面積

式  $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 - 5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$

答え  $78.5 \text{ cm}^2$

円周(円のまわりの長さ)と面積のどちらを求めるのかを考えて計算をしましょう。

